

2023年12月1日

学生生活審議会御中

東北大学学生支援課御中

日就寮委員会

「東北大学の学生寄宿舍に入寮希望される方へ」における日就寮の記述に関する要求書

## 記

「中核派系全学連が拠点のひとつに位置づけていた」という記述について

当該記述について、昨年の公開質問状提出以前から、日就寮委員会はその撤回を求めてきました。その理由は、日就寮があたかも特定の思想団体の「拠点」であるかのような印象を与え得る当該記述によって、保護者や教員の反対で入寮を断念せざるを得ない学生が存在しているためです。

昨年送付した公開質問状においては、当該記述の判断理由等について質問し、その撤回を要求しました。

その回答にもある通り、令和4年度から記述が変更され、「中核派系全学連が拠点のひとつに位置づけていた」という過去形になったことを確認しました。

しかしながら、「中核派系全学連が拠点のひとつに位置づけていた」という記述は、現在の寮に関する状況の説明として特別必要な記述であるとは到底考えられません。前回の質問状の意図が反映されておらず、非常に残念に思っております。

また、当該記述については以下の点からみても非常に悪質なものであるといえます。

### ① 不明瞭な根拠で「拠点」と判断されている点

日就寮委員会は当該記述の撤回と同時に、中核派の「拠点」であると判断されている理由について再三ただしてきましたが、判断理由に関する正式な回答を頂いたことは一度もありません。かつて特定の思想団体に所属する学生が寮に在籍していたことは、日就寮のみならず、全ての学寮について言えることです。明確な理由なく、日就寮に限定してこうした記述を掲載するのは、悪質な印象操作と言わざるを得ません。

### ② 特定の思想を排除しうる点

そもそも、当該記述は特定の思想を持つ、あるいはそうした団体に所属すること自体が問題であるかのような印象を与えるものです。思想および良心の自由は憲法においても保障されていますし、大学という多様性の空間においてはなおさら特定の思想信条を持つことを問題とする、ということは許されるものではありません。

日就寮が特定の思想団体の「拠点」であった事実はありませんが、入寮を希望する学生に対し、思想信条を理由に入寮の可否を判断するということもありませんでした。

昨年送付した質問状に対する回答には、「これからの経過を見て」とありますが、全ての学生に福利厚生を提供するという学寮の理念から、思想信条を理由に入寮の可否を判断することはこれからもいたしません。

以上を踏まえ、当該記述の一刻も早い撤回を求めます。